

第36回労働施設検討会議 議事要旨

1 と き 平成30年12月20日(木) 19:10～21:00

2 ところ 西成区役所 4階会議室

3 出席者

(有識者4名)

福原大阪市立大学大学院経済学研究科教授

寺川近畿大学建築学部建築学科准教授

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

白波瀬桃山学院大学社会学部准教授

(行政機関15名)

大阪労働局 大久保会計課長補佐、宮田職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労政課 地村参事、中村課長補佐、ほか4名

西成区役所事業調整課 安間課長、室田課長代理、狩谷係長、ほか2名

(地域メンバー11名)

茂山萩之茶屋第9町会長

松繁釜ヶ崎資料センター

山田NPO法人釜ヶ崎支援機構理事長

山田NPO法人サポータィブハウス連絡協議会代表理事

中島公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

荘保わが町にしなり子育てネット代表(代理)

森下釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

本田釜ヶ崎反失業連絡会共同代表

山中釜ヶ崎日雇労働組合委員長

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長

4 議 題

- ・本移転施設の配置の検討について

5 議事要旨

(1) 前回会議の振り返り

(2) 主な議事の概要

- ・本移転施設の配置の検討について

- ・報告事項

仮移転施設への移転予定について

「居場所問題」への対応について

(3) 主なご意見と今後の対応

《本移転施設の配置の検討について》

○ 主なご意見

- ・周辺に買い物の店舗がない。建物の中に食堂とか喫茶とか何かを置くべき。
- ・建物の形を丸にすると面積がもったいない。
- ・場所をどこにするのかもあるが、建物の階高を決めるべき。
- ・1 4階建てで上層を住宅にしては。上層部分の権利を民間に売却し、資金を確保してはどうか。
- ・コンテナを置いて屋台などをするのは北側で。南側では客はあまり来ない。
- ・センター機能としては、アクセスしやすいところに駐車スペースを確保することが大事
- ・1階部分を高くして駐車スペースにすべき。立体駐車場を作るべき。
- ・全車両が停められる駐車スペースを確保したら、路上求人を全部無くすのか。
- ・駐車スペースをあらかじめ広く取ったうえで、路上求人車両を取り締まるべき。
- ・車の流れは、対面通行か、一方通行にするのかも考えるべき。
- ・車両は東西に通すのではなく、現センターの東側・西側・南側の道路を拡幅し、周回するようにしてはどうか。
- ・新萩の森やプレイパークはどこに作るのか。火が使えるか。水が引かれるか。
- ・保育園は労働施設の建物と一体ではなく、ある程度離れて、緑地もあるイメージ。
- ・児童館と保育所は、大きなセンターの建物と一緒にではなく、別個にすべき。
- ・子供の遊び場などの土地は、誰かが買うのか。使う人が土地を買うのか。
- ・施設や道路の配置、屋台村などは、周辺住民の住環境への配慮が必要。

《報告事項について》

仮移転施設への移転予定について

居場所問題への対応について

○ 主なご意見

- ・休日の相対紹介は、どうするのか。日曜日は閉めるのなら代替措置が必要。
- ・休日の寄り場機能はどのような役割を果たしているのか。
- ・契約求人では、労働者が不利益を被ることが無いよう配慮が必要。
- ・日曜日でも新施設の駐車場を開けて、業者が駐車できるようにすべき。
- ・今も日曜日に仕事を探す労働者がいる。路上求人をさせるのか。
- ・日曜日の求人車両の駐車場所を掲示しないのなら、駐車場を開けるべき。
- ・本設のセンターができ駐車場が確保できるまでは、規制はすべきでない。
- ・労働市場を縮小させるな。路上求人が増えるだけ。
- ・センターの近くで、段階的に目利きができる場所で求人できるようにすべき。
- ・本設のセンターができる頃に、労働者が仕事に行きやすい仕組みを実施すべき。
- ・日雇いの仕事の特徴を踏まえた対応が必要。
- ・労働者の権利を守る取組みは当然。あいりん職安は正規の業者でないものは紹介しなかった。センターまで、同じことをするのか。
- ・国がセンター5時から相対をさせてきた。労働者が不利益を被らないよう、職安が土日を

含めて保証すべき。

- ・ あいりん職安は、職業安定法の下で権限を発揮すべき。
- ・ 国とセンターは、仮設であろうと最大限労働者が求職活動ができる場所を確保すべき。労働者保護、地域の環境保全からも配慮が必要。
- ・ あいりん職安は、日雇い労働者を相手にした前日紹介についてよく考えるべき。
- ・ ガードマンの待機場所はどうなっているのか。トイレも場所を借りて作ればよい。
- ・ センターのトイレは、5時から使えるが、閉まれば使えない。職安は、5時から開けるのか。
- ・ 南海電鉄高架下の工事現場でパワハラがあったが、調査すべき。工事の騒音がすごい。
- ・ 新施設での不法投棄対策、防火対策としてのガードマンの配置、防犯カメラの設置、旧施設閉鎖後の管理を具体的に示すべき。
- ・ 新施設への移転時期の周知について、いつ告示するのか。

○ 今後の対応

《本移転施設の配置について》

- ⇒ 施設配置のゾーニングについて、具体的なイメージに近づきつつある。車の動線や周辺施設の配置シミュレーション、住環境への配慮なども含め、さらに絞り込みを検討する。
- ⇒ みなさんのご意見を伺い、さらに具体的なシミュレーションを描いて行く。

《報告事項等について》

- ⇒ 日曜、祝日の対応策について、行政との協議を進め、開けられるところは開けていく。
- ⇒ 行政以外の地域の場所の使用について、行政、地域が一体となって課題に対応する姿勢を作っていく。
- ⇒ 次回の会議で、新しい取り組みを報告できるようにしたい。

6 会議資料

配布資料

- 1 第35回労働施設検討会議 議事概要（案）
- 2 本移転施設配置シミュレーション（案）

参考資料

- 1 第35回労働施設検討会議 議事要旨（案）